

Newsletter

国際運輸(株)がお届けするホットなニュース



Newsletter

国際運輸(株) 社内報 特別号

Top Page

体験型企業説明会へ出展
in 波佐見高等学校

1P-3P

KOKUSAI Person コクサイな人

4P-8P

KOKUSAI Information 特集記事

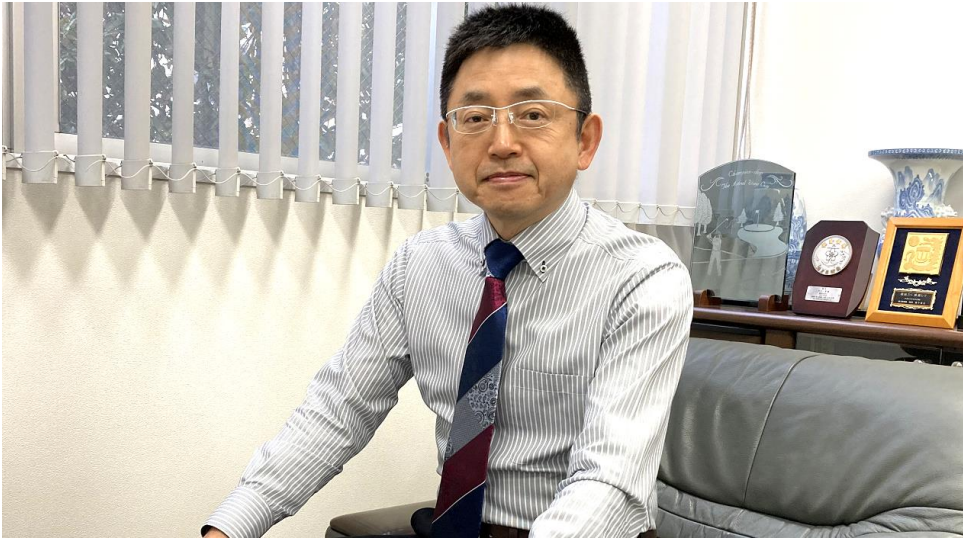
9P

Column お役立ちコラム



社員の皆さんへのメッセージをお届けします。

KOKUSAI Person



代表取締役社長

前田 和隆

Kazutaka Maeda

人を育てる

やってみせ、言ってみせ、聞いてやらせ、させてみせ、褒めてやらねば人は動かじ。

話し合い、耳を傾け、承認し、任せてやらねば人は育たず。

これは今更説明の必要もない、日本海軍大将山本五十六の有名な格言の一つです。その時代の日本、ましてや戦争の頻発する明治から昭和初期にかけては軍国主義が横行し個人の意見や自由がことごとく抑圧される中において、軍隊にしる、役人や民間企業にしても本来なら全て「命令」の形での教育が当たり前だったはずなのに、山本五十六はこれだけの事をやらないとまともに人は育たないと語っています。

そんな時代から約八十年、今の世界の変わりようは当時の人たちには想像も出来ない

ようなことばかりかと思えます。テクノロジーの進化は昔のSFのを更に上回り、若い世代はともかく、そのスピードについていくため年を重ねる毎に必死にならなければなりません。

そして個人の権利を第一とする時流は、これまで暗黙の了解で無理強いされてきた社会の弊害を減らした一方、必要と思わないものとは極端なほどに関わりを持たない生き方が、いつの間にか本来人間として必要だったコミュニケーションまで無くしている世の中になってきているようです。

しかし私たちは仕事を続け、次世代に向かってでも継続し発展できるような準備も怠るわけにはいきません。人類が誕生してから綿々と言われ続けているであろう「まった

く最近の若い奴らは」的な愚痴を連呼してみても、彼らに将来を託さなければならぬのは間違いない、会社においては一人でも部下がいる社員は、その部下への指導と教育が未来に向けての最も大切な仕事であることを自覚しなければなりません。

まずは手本を見せて、理解の進捗を見ながらやらせ、失敗しても根気強く丁寧な指導を繰り返して、出来た時にはしっかりと褒めて達成感とやる気を出させる。その後も報連相を忘れず、育つ毎に権限を委譲し、任せる仕事の領域をどんどん広げていきましょう。そして上司である以上、責任を取る姿勢を見せる事が出来れば社内での教育体制は万全です。

近い将来AIとロボットが完璧な仕事をする時代が来るでしょう。でも人類が存続し人が人のために仕事をするのであれば、人を育てる事が一番尊い仕事なのだと思います。



専務取締役

中園 嘉臣

Yoshiomi Nakazono

賃上げに頼らない、 魅力のある会社について考える

令和6年になり、4月には2024年問題があり、当社も類にもれず運行の大幅な変更を余儀なくされ、長距離を中心に全線高速にて対応しました。又、高速料金は別途お客様より頂くのが通例ですが、お客様は余裕のある運行を選択出来るため、休憩時間、休憩時間等を確保するため、運賃の値上げの形で春先よりお願いしました。

又、春先よりの賃上げに関しては、大手企業を中心に、大卒の初任給を4万円から5万円アップする等、受注金額の上昇よりも賃上げの方が先行した感がありました。ましてや、昨今の円安はアメリカ、ヨーロッパとの金利差を受け、一時1ドルあたり160円を超えるなど、輸入製品の益々の高騰を招きました。その後、

日本の金利をわずかばかり上げた事により、一時10%程度戻しましたが、尚円安は続いています。さらに、今年10月には2,000品目以上の商品の値上げがあり、政府容認のもとインフレを加速させている感じがします。

2~3年前でしょうか、韓国の平均賃金が日本を上回ったとの情報が入り、俄かに信じられなかったのですが、事実であり、韓国だけにとどまらず、近隣のアジア諸国、台湾、ベトナムなどに於いても国民所得は上昇し、日本を旅行するアジア系のインバウンドは益々増加傾向にあります。私事ですが、30年ほど前、韓国に旅行に行った時の話、韓国ウォンの貨幣価値は、日本円の1/8でした。1,000円あれば韓国では8,000円の価値があり、当時韓国滞在中に観光バスにセールスのおじさんが来て、ベルト3本と長財布2個を1,000円で販売し、安いと思って買って帰りました。日本の長年の低金利政策が、日本の物価の上昇を抑え、賃金さえも抑えたと言われています。

10月発足した石破内閣では、あと数年で最低賃金を1,500円にすると断言しています。体力のある大企業は多少の賃上げでも、びくともしないでしょう。但し、体力のない中小企業はどうでしょうか。コンプライアンスを守るために労務費は上昇し、赤字、債務超過になり、倒産する企業が出てくるとの情報もあります。

国の賃上げの方針、会社の収益確保のための方向性とは裏腹に、忘れてはならない現状の課題があります。それは、人手不足です。IT関連等人気の企業を除いて、大半の企業が人手不足に陥っています。余りに安い賃金に嫌気が差し、海外での就労を希望した人が、たくさんいるとの情報もあります。当社に於いても、人手不足は大きな課題で、運輸、梱包を問わず、募集をかけても中々応募がない状況が続いています。ましてや、最近になり20代の離職者が目立ち、理由は各自それぞれあるのですが、あからさまに給料が安いとの理由での退職者も出てきました。賃上げが何処の会社に於いても急務となっているのは明白です。

当社も余力があれば、賃金の底上げを実施すべきですが、やはり賃上げの原資、採算面等を考慮すれば、賃上げの幅は限度があります。ただし、現在従業員に対し出来る事、ガソリン等の給油券の配布、コマースの商品券の配布はしばらく継続の予定です。又、さらに直接の賃上げではなく、有給休暇の増加、一定時期の時短営業等も視野に置いて、当社の出来るところから始めて、魅力のある会社に近づけるよう模索しています。

令和六年秋

皆さん、日々のお仕事お疲れ様です。このところ日足がすっかり短くなり、肌寒さを感じるようになりましたが、今年の夏は本当に暑かったですね。酷とはわかっていながらも、現場の皆さんには、いろんな場面で何かと無理を聞いてもらいました。改めて御礼を申します。

ところで、私事ですが、三年ほど前から気候が良いこの時期になると、体力づくりを兼ねて妻や友人とトレッキング（山歩き）をしています。歩く速度はゆっくりですが、ほんの少しの食べ物と飲み物を入れたリュックを背負って、赤や黄色の落ち葉のじゅうたんを歩き、その時々山の景色を楽しんでいます。山にもいろいろあって、悠々そびえたつ独立峰もあれば、幾つかの山が連なった連山もあり、それは様々ですが、山には共通な点の一つあって、ほとんどの山には祠（ほこら）や石仏といった神仏が祀られています。昔から修業の場として、また信仰の対象としての意味が大きかったのでしょう。想像ですが、当時の僧侶や修験者、一般の人に至るまで、世の幸せや、あるいは自身の修業のためとして、長い間あるいは生涯にわたって世俗を離れ、このような場所で肉体的、精神的な苦行を行う人たちがいたのでしょうか。そういった跡も見学し、手を合わせながら、罰当たりではありませんが、私なりの体力づくりと癒しを楽しんでおります。

ただ、今に生きる私たちも幸せで楽しいばかりかと言えばそうではありませんよね。病気もあれば家庭の問題、社会生活における諸問題もある。個人差はあっても何かしらの肉体的、精神的な苦労があるものです。「穢土（えど）の一日の修業は深山の千日の修行に勝る」という言葉があります。（この人間社会において人に揉まれながら生きていく苦労は、一人きりで深い山の中に入って千日の修業をするよりもっと大変だ。）という意味で、この娑婆（しゃば）世界においては歯を食いしばって耐えていかなければならない事が多くあります。人はそれぞれ世に生まれた以上、家庭であれ、職場であれ、地域のコミュニティであれ・・・、その中で自身を磨かなければいけないのかもしれない。私の一番の修業の場は、仕事を通して自身を成長させてくれた職場（国際運輸）ですが、皆さんは如何思われますか。

ところで、これはある本の受け売りですが、対人関係に悩ましさをおぼえるとき、「その対処法は、先ず、相手の立場になって考える事。相手の方は「辱めてやろう」、「いじめてやろう」と発した言葉ではなく、私のためを思って泣きの涙で言ったのかもしれない。誰か尊い方がこの人に身を変えて諭しているのかもしれない。そう思えば鬼の顔も仏に見えるのではないか。これも修業と思ってそのまま受け取ることが出来れば多少は心が落ち着きます。

最後になりましたが、この秋、梱包部においては、一名に主任昇格、二名に班長昇格の辞令交付がありました。それぞれ皆さんにお伝えしたいのは、立派な役職者というよりも、人として感じの良い管理者、役職者になっていって下さい。上に立つ者、大事なものは人柄です。それが部下や後輩、組織全体に伝わっていきます。昇進をされた三名の方々には心から祝福を申し上げますと同時に、これからの皆さんの成長に期待をしています。



取締役統括本部長

萩坂 貴徳

Takanori Hagisaka

国際運輸㈱で行われている日常の様々な出来事を紹介します。

KOKUSAI Information

10月4日（金）、波佐見高等学校において体験型企業説明会（COURSE EXPO in 波佐見）が開催され、当社も今後の求人活動の一環として初めて出展しました。長崎県内の企業を中心に多くの企業が参加する中、高校生及び中学生が各企業ブースを回り、普段の学生生活では体験できない様々な仕事について学びました。当社も企業説明を行った後、梱包作業について実際に荷台に上がり、体験していただきました。

開催概要

日程 2024年10月4日（金）9:45-12:45
場所 波佐見高等学校
参加者 波佐見高校1年生（78名）
波佐見高校2年生（89名）
波佐見中学2年生（128名）
出展者 23社
目的 地元企業を知り、進路選択に役立てる。

タイムスケジュール

開始時間	終了時間	場所	内容
9:45	10:05	体育館	オープニング ●開会の辞 ●挨拶 ●名刺交換マナー講習
10:10	10:30	企業ブース	企業ブース回り①（グループ）
10:35	10:55	企業ブース	企業ブース回り②（グループ）
11:00	11:20	企業ブース	企業ブース回り③（グループ）
11:25	12:25	企業ブース	企業ブース回り④（フリー）
12:35	12:45	体育館	エンディング ●挨拶 ●閉会の辞



開催様子



今年の夏に当社のインターンシップを経験した生徒さんが真っ先に名刺交換にきてくれました！



当日は約40名の学生さんが事業内容について熱心に耳を傾け、他社に負けず大盛況でした！



みんなが見守る中、実際に荷台に上り、バンニングを体験。想像していたより難しく苦戦中です。



梱包部社員の手伝いもある中、多くの学生さんが当社ブースに足を運び体験してくれました。

お手紙の紹介

当日参加してくれた波佐見中学校の皆さんから
嬉しいお手紙をたくさん頂きましたので一部ご紹介します！

国際運輸 株式会社 様

拝啓

夏が終わり秋の涼しさを感じる季節となりました。

貴台におかれましては、ますますご活躍のことと思います。

私は合唱コンクールを控え、学校生活を有意義に過ごしています。

先月はお忙しい中、「体験型企業説明会」に参加させていただき、ありがとうございました。おかげさまで、私は初め貴台の事業内容をあまり知りませんでした。中学生の私たちにも分かりやすいように丁寧に教えていただいたので、国内外へ荷物を大切に運輸なさっていることを知らることができました。また、梱包体験などの貴重な体験を通してコンテナに家財を積み込む難しさを学ぶこともできました。これらの体験を通して得た気づきや学びを生かすことができるよう、中学生の今から自分の将来のイメージをふくらませ、それを実現できるように日々切磋琢磨していきたいです。

徐々に朝晩は冷え込んできます。風邪などに注意され、元気にご活躍ください。

令和六年十月四日 波佐見中学校 松尾 麗子



国際運輸 株式会社 様

拝啓

木々が紅葉しはじめて、秋を感じのどかな季節となりました。10月にはなりましたか、日の強さは相変わらずのように思いますが、貴台におかれましては、ますますご活躍のことと思います。私は合唱コンクールや修学旅行を控え、楽しい学校生活を過ごしています。

さて、先日は大型トラック見学などの貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。最初は全くイメージがつかず、疑問も多かったのですが、配布してくれた資料や詳しいお話しのおかげで、仕事に対する理解を深めることができました。日本の引こしとは違い、生活の中は引こしを年単位と初めを知りました。17のシートに家財を梱包して積み込ませる行為には相当な経験が必要だと思いました。今回の体験型企業説明会を通じて、将来の夢に1歩近づけたことかと思いました。本当にありがとうございました。

秋を深まり、徐々に朝晩は冷え込んでいます。体調には気を付けてお過ごしください。これからも元気に活躍してください。

敬具

令和6年 10月4日 伊藤 咲花



国際運輸株式会社様

拝啓

清秋の候、貴台におかれましては、ますますご活躍のことと思います。

私は合唱コンクールを控え、学校生活を有意義に過ごしています。

さて、先日は体験型企業説明会に参加させていただき、ありがとうございました。

おかげさまで、今まで知らなかったトラックの中や、トラックへの積み込みを体験でき、とてもためになりました。私達はトラックに

カンボールなど全部積むことができなかつたけど、企業の方は全て積むことができ、さすがだなと思いました。自分は、まだ

将来何をするか決まていませんが体験したことを活かし役立てていきます。この企業説明会がなかったら、仕事に

ついてあまり知らなかつたです。また体験できる機会があったら参加してみたいです。

徐々に朝晩は冷え込んできます。風邪などに注意され、元気にお過ごしください。

敬具

令和六年十月七日

堀田美咲



国際運輸 株式会社 様

拝啓

清秋の候、貴台におかれましては、ますますご活躍のこと

と思います。私は合唱コンクールを控え、学校生活を

有意義に過ごしています。そして、練習では一人一人が一生懸命

に練習をし、クラス一致団結してゴールド金賞をとれるように日々の

練習にはげんでいます。

さて、先日はお忙しいなか私たちのために体験型企業説明会を

開いていただき、ありがとうございました。私は体験することほ

出来たか、たけど、荷物がきれいな、きりこたうに詰められている

のを見てすごく感動しました。すごく練習をのめ重ねて、頭

を思いながらしていることがわかりました。イスの梱包もただ

箱に入れてあるのではなく、イスの形に合った梱包することこ

おつておだたなスポーツをとらずに梱包できることを学びたい

かと思いました。

「余々に朝晩は冷えこんでいきます。風邪などに注意

され、元気に過ごしてください。

敬具

令和六年十月七日

瀬戸口 煌



知識を深め、人生の中で役立つ読みものコラムです。

Column

～六中観～

1. 忙中閑有り・・・ただの閑は退屈でしかない。ただの忙は文字通り心を亡ぼすばかりである。真の閑は忙中に有る。忙中に閑があって始めて生きる。
(物をたのむ時は忙しい人にたのめという)
2. 苦中楽有り・・・いかなる苦しみにも楽がある。貧といえども苦しいばかりではない。
3. 死中活有り・・・死地に入って活路が開け、全身全霊をうちこんでこそ何ものかを永遠に残すのである。
(のらくらと 50 年 70 年を送って何の生ぞや)
4. 壺中天有り・・・中国のある市場の役人だった人が、役所の窓から見える通りに店を出している菓売りの老人が、夕方店をたたむと店先の壺の中に入って行くのを見た。翌日、老人にその事を尋ねると、「見られたんなら仕方がない」と壺の中に連れて行った。壺の中には珍味を並べた別天地があり、酒を飲んで大いに楽しみを尽くしたという。
(日頃の忙しい中でも、自分自身が楽しめる趣味を持つ)
5. 意中人有り・・・常に心の中に人物を持つ。歴史上の人物であれ、相談出来る人生の先輩であれ。
6. 腹中書有り・・・目に止めたとか、頭の中のかすのような知識ではなく、腹の中に納まっている哲学のこと。

安岡正篤氏の著書より

○● 編集後記 ●○

先日人材会社の方とお会いして現在の就職市場の動向を伺う機会がありました。高卒の新卒採用市場に関しては有効求人倍率（求人数／求職者数）が年々増加し、今年なんと 3.52 倍！すなわち 1 人の求職者に対して 3 つ以上の仕事がある状況です。各企業が人材確保に苦慮する中、今後ますます人材難に拍車がかかることが推察されます。

このような状況の中、近年はロボットの導入で人手不足を補おうとする企業努力も窺えますが、私たち物流業界にとっては先々もマンパワー（人の手）が必須です。

今勤めて頂いている従業員の皆さんに感謝し、できるだけ長く健康に留意しながら勤めていただきたいと思います。

(編集部 H.M)

11 月
Happy Birthday
おめでとうございます!

本 社 前田 佐因美さん
運輸部 吉村 武さん
運輸部 楠本 司さん
運輸部 山浦 浩二さん
運輸部 池田 誠さん
梱包部 菅野 公治さん
梱包部 平田 一孝さん



Newsletter

国際運輸(株) 社内報 特別号

発行：国際運輸株式会社 所在地：長崎県佐世保市広田 4 丁目 8 番 5 号

TEL(代表)：0956-39-0011 FAX：0956-39-1301



Aiming at the highest customers satisfaction with all possible efforts.